



学校経営テーマ

学校において資質・能力の育成を目指すすべての活動は、生徒と教職員にとっての学びの場である。

学校経営方針

I 教 育 活 動	(1) 主体的な学び(学びの「態度」)<1 基礎力、4 キャリアプランニング能力> ア 生徒自らが学び続けることができるよう、言語や数的情報などを読み取る基礎力を育成する。 イ 社会とのつながりを実感できるキャリア教育の工夫により、生徒が卒業後も継続的に社会と向き合って生きる人生を展望する姿勢を醸成する。
	(2) 対話的な学び(学びの「方法」)<3 説明力、6 共感力、7 規律力、8 協働力> ア ツールとしてのICTを効果的に活用するなどして思考を深め、他者へ説明する力を育成する。 イ 他者への共感的理解の基礎となり、よりよく学び合うためのコミュニケーション能力を育成する。 ウ 集団生活へのあらゆる機会をとられ、人権や規律を守り、自他を尊重する意識を高める。 エ 良さを認め合い、協働的な学びに安心して取り組むことのできる関係性を構築する。
	(3) 深い学び(学びの「深さ」)<2 調査検討力、5 向上力> ア 個に応じた指導と観点別評価により、生徒がわからないことを調べ多角的に検討するなどして、自らの学びを深める力を養う。 イ 職業に関する学習や生活体験発表など、在り方生き方を考察させる機会等を通して、探究活動の充実を図る。
II 学 校 運 営	(1) 校内組織 ア 働き方改革を進め、情報共有や役割分担と協働により、機能的・効率的な学校運営の改善を図る。 イ 深い理解のもと、いじめ、不登校、問題行動、特別な支援等に適切に対応する体制構築に努める。
	(2) 教職員 ア 教職員間の良好な雰囲気作りにより、心理的安全性と同僚性が発揮される職場環境の構築に努める。 イ 法令遵守、服務規律の保持のほか、教職員の資質能力を高める研修の機会の確保に努める。
	(3) 地域連携 ア 教育活動の進捗状況や成果などの情報を積極的に発信することで、地域からの信頼を高める。 イ 日頃の丁寧で親身な対応、諸行事等を通して保護者や同窓会との良好な関係作りに努める。 ウ 大学や地域の外部講師や専門人材等を積極的に活用し、地域連携による教育活動の充実にも努める。

学校経営検証システム

